

Racing Topics

★中央競馬ニュース 文・谷川善久★

●川田将雅騎手がJRA通算1400勝を達成

2月1日(土)の2回京都1日・第10レースとして行われた花見小路特別ではボッケリーニが1着となり、同馬に騎乗した川田将雅騎手(栗東・フリー)は、史上21人目、現役では10人目となるJRA通算1400勝(1万51戦目)を達成しました。

●浜野谷憲尚騎手が引退

浜野谷憲尚騎手(美浦・フリー)は、1月31日(金)付で騎手を引退しました。JRA通算成績は2978戦169勝で、今後は戸田博文厩舎(美浦)で調教助手となる予定です。

●ステイゴールド産駒がJRA通算1100勝を達成

2月2日(日)の1回東京2日・第7レースではゴールドスミスが1着となり、ステイゴールド産駒のJRA通算勝利数が1100勝となりました。これはJRA史上15頭目の記録となります。

●デアレガーロ、カラクレナイの競走馬登録抹消

2019年京都牝馬S(GⅢ)の勝ち馬デアレガーロ(牝6歳/美浦・大竹正博厩舎)は、2月1日(土)付で競走馬登録を抹消されました。JRA通算成績は17戦6勝で、今後は北海道安平町のノーザンファームで繁殖馬となる予定です。2017年報知杯フィリーズレビュー(GⅡ)の勝ち馬カラクレナイ(牝6歳/栗東・松下武士厩舎)は、2月6日(木)付で競走馬登録を抹消されました。JRA通算成績は26戦4勝で、今後は北海道千歳市の社台ファームで繁殖馬となる予定です。

●2019年度ロンジンワールドベストレースホースランキング発表

I F H A (国際競馬統括機関連盟)から『2019年度ロンジンワールドベストレースホースランキング』が発表されました(単位はポンド)。2019年に出走した馬を対象に国際ハンデキャッパー会議において決定されたもので、ワールドチャンピオンはプリンスオブウェールズS勝ち馬クリスタルオーシャン、キングジョージⅥ世&クイーンエリザベスSやヨークシャーオークスを勝ったエネイブル、凱旋門賞を制したヴァルトガイスト(128)の3頭。日本調教馬はリスグラシュー(126)の第5位タイを筆頭に44頭が掲載され、これは2015年・2017年の43頭を上回る過去最多の頭数です。国別では米国(69頭)、英国(45頭)に次いで第3位となっています。

★地方競馬ニュース 文・宇田川淳★

●花吹雪賞はミスカゴシマ、佐賀では無敗【各地の主要3歳重賞】

花吹雪賞(1月19日、佐賀、1800^円、牝馬)は、先手を取ったミスカゴシマ(父トーセンブライト)が後続を4馬身引き離し、単勝1.2倍の支持に応えて九州ジュニアチャンピオンに次ぐ重賞制覇を果たしました。園田クイーンセレクション(1月9日、園田、1400^円、牝馬)は、1番人気のステラモナーク(父エスポワールシチー)が7馬身差で逃げ切り圧勝。ニューイヤーC(1月15日、浦和、1600^円)は、逃げた単勝1.5倍で断然人気のグリーンロード(牡、父パイロ)が、2着馬に2秒0の大差を付けました。ゴールドジュニア(1月23日、笠松、1600^円)は、後ろから2頭目という位置から追上げた10頭立て10番人気の兵庫からの遠征馬ガミラスジャクソン(牡、父エイシンフラッシュ)が、ゴール前で差し切りました。単勝1.4倍という圧倒的な支持を集めたゴールドウィング賞の覇者インザフューチャーは、初めての控える競馬が影響したか、見せ場なく9着に沈んでいます。

●ナムラカメタローらが参戦、2月11日の佐賀記念(佐賀)

佐賀記念(JpnⅢ、2月11日、佐賀、2000^円)は、前走の師走S(L)を制したナムラカメタローが最有力、以下ロードゴラッソ、ラインカーナ、ノーヴァレンダ、テルベリオン、ウノビアットブリオ(佐賀)までが争覇圏内と考えられます。

★海外競馬ニュース 文・秋山響★

●G2アルラシディヤ〜バーニーロイが復活の重賞制覇

1月30日にUAE・ドバイのメイダン競馬場で行われたG2アルラシディヤ(北半球4歳上、南半球3歳上、芝1800^m)は7頭立ての4番手でレースを進めたバーニーロイ(騾6歳、父エクセレブレイション、C.アップルビー厩舎)が直線で鋭く伸びて優勝しました。2.25馬身差の2着に昨年のG1ジェベルハッタ優勝のドリームキャッスル。上位4着までは全てゴドルフィン系の所有馬でした。勝ったバーニーロイはR.ハノン厩舎の所属馬として2017年のG1セントジェームズパレスS(芝1590^m)に優勝。2018年にイギリスで種牡馬となりましたが、繁殖能力に問題が判明したことで昨年現役に復帰。昨年は3戦してリステッドレースの1勝のみでしたが、今年の初戦となった今回、久々の重賞勝ちを収めました。

●G1サンメット〜ワンワールドがG1初制覇

南アフリカを代表するレースのひとつであるG1サンメット(3歳上、芝2000^m)が2月1日にケルンワース競馬場で行われ、M.ビルヴェルド騎手が手綱を取ったワンワールド(牡4歳、父キャプテンアル、V.マーシャル厩舎)が、イギリスの名手R.ムーア騎手を背にこのレース連覇を狙ったレインボーブリッジとの競り合いを制して優勝。G1初制覇を果たしました。